



今月上旬には桜の花が咲き、木々には新緑があふれてきて、すっかり景色が変わってきました。どこか躍動感を感じられる季節となってきましたね。

道リーグや学生リーグ、総理大臣杯、高体連予選会と本格的に大会が始まり出しました。みなさんの「出番」も多くなってきたことと思います。今一度、競技規則の精神である「安全・公平・喜び」のもとに競技規則の適用を考えて下さい。当然、チームや選手から公平さに関わって、誤解を受けないようにもしていかななくてはなりません。「リスペクト」についても、審判員として、どのようにリスペクトしているのか。選手に対して、チームに対して、サッカーに対してというところへの意識を持って取り組んで欲しいと願っています。

高体連北海道大会への審判協力

開催地 釧路 開催期間 6月14日～17日 (13日夜、審判打合せ)

参加可能な審判員は、地区審判長、あるいは高体連の専門委員にご連絡下さい。

J F A フィットネスインストラクター 山岸貴史 氏の講習会

目的：トレセン活動の一環として、審判員へより効率的な走り方に関わって指導を行う。

そして、各地区より派遣を受けた審判員に対して、トレーニングに関わる講義を受け、それを各地区に持ち帰り、情報伝達を図っていく

日時：6月15日(火) 19時30分～21時 講義

16日(水) 19時30分～21時 試合中の動きに関わる映像解析

会場：釧路北陽高校 (高体連北海道大会期間中に行います。)

競技規則改正

今後、6月4、5日の全国審判長会議(参加 柳元委員長、今川指導者副部長)を経て、みなさんにも通知をしていきますが、J F AのHP⇒J F A⇒業務・財務報告⇒理事会報告⇒第6回(16.05.19)の競技事項の中に資料がありますので、ご覧ください。

北海道での適用時期を含め、今後正式にご連絡します。

☆リオデジャネイロオリンピックに日本から4名の審判員がアポイント

第31回オリンピック競技大会(2016/リオデジャネイロ)の担当審判員が5月2日(月)、FIFAより発表され、日本から下記4名の審判員がアポイントされました。

【サッカー男子】 ・佐藤隆治(主審) ・相楽亨(副審) ・山内宏志(副審)

【サッカー女子】 ・手代木直美(副審) ⇒北海道出身!!!

■ 6月 予定

第4回審判TRC(帯広) 6月4・5日 *オブザーバー参加大歓迎!!(地区審判長へ)

2級リフレッシュ(函館) 6月10日(金)～12日(日)

S審判員・インストラクター合同研修(函館) 6月18日(土)～21日(火)

高体連サッカー(各地区よりの審判派遣)

第5回審判TRC(帯広) 6月25・26日 *オブザーバー参加大歓迎!!(地区審判長へ)

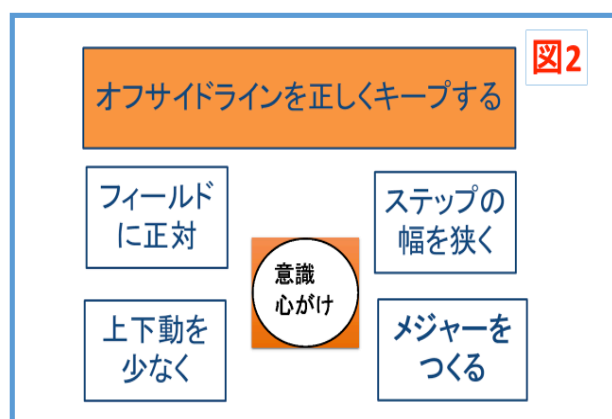


審判委員会 毎月 20 日発行
第 10 号 2016 / 5 / 20
(20)

皆様、日頃より大変お世話になっております。十勝地区に所属しています原尾 英祐（はらお えいすけ）です。私は、現在 1 級審判員として、JFL 担当審判員のカテゴリーで活動させていただいております。2016 年第 2 回 JFL 担当審判員研修会が 4 月 30 日、5 月 1 日に横浜市スポーツ科学センター開催されました。その報告をさせていただきます。

○内容

- (1) 今回の研修会のテーマとして「RACO」（図 1）のサイクルを自分で回して、自立・自律した魅力溢れる審判員を目指す。そのためにサイクルを回すことを意識した研修会になりました。具体的には、ディスカッションを行って自分の意見を出し、他の方の意見を参考にしながら自分の考えを整理する、そしてそれをプラクティカルトレーニングなどで実践してみて、新たに気づくということです。
- (2) 廣嶋トップレフェリーインストラクターから副審の任務として、オフサイドの正しい判定をするために必要なことが示されました。そして、その中でもオフサイドラインを正しくキープするために必要なことを 4 点あげられました。（図 2）
- (3) 今年度から佐藤隆治プロフェッショナルレフェリーが JFL 担当審判員の指導の方に入ってくださいことになりました。佐藤隆治氏から自身の経験を踏まえ、JFL 担当審判員に求められることとして自らアクションを起すこと（自ら考えて、自分で答えを出す）の大切さを教えていただきました。



○感想

実際の試合において力を発揮するためには、自ら考察して、実際に試合に実践してみて、整理することが大切だということを理解しました。ぜひ、このサイクルを実践していこうと思います。